

# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

テスト ビーチクリーンをする

一つの目的に向かって何か事を起こす

Zoomを使う

活動が盛んな市民団体の紹介を市民の人に  
する。対面とZoomで。

30代~40代の人たちがおもしろくやっている活  
動を紹介して、そこからヒントを得られるよう  
な、講習会。

町内会のお祭りを行う

食でつながるはとても良い題材だった。地域の  
共同食品庫を作る。 栄養も一緒に考えて作  
る。

テーマを決めた交流会（団体数を絞って） +  
Youtube配信

Zoom交流会でもつながりを作れるコーディネ  
ーターにお願いします



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

公園巡りツアー

お餅つき

地域のショートドラマを皆で作ってみる

何か目標をもって行動する祭事などを実施する。全員が共感できる活動を考えて実施する。その内容が何かまたでは、考え切れていません。すみません。

若い人が地域活動に無関心？関心を持って協力してもらえるように。

学校を通じて、コミュニティ活動や地域活動を紹介する

学校での団体紹介、情報発信

若い人が社会問題に興味を持ちだしている。相談に来る人が増えている。10代、20代の人を市民活動団体につなげる、紹介することが増えている。

課題中心に取り組みを始める10代、20代がいるので、そういう取り組みをいろんな世代に伝えていく



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

コロナ禍で事業ができていなかった。youtube、instagram開設し、街歩き動画、街の歴紹介、各事業でのイベント情報を動画にとり発信。役所の中にイルミネーションを行い、癒しの場を作成した。

声を出せない団体を支え、つなげる

気軽にオンライン上にだれでも書き込めるお悩みボックスがあるといい

個人の近況を確認しながら互いの声を広げる

オンラインなら参加できる人。新しい層を開拓していく。

オンラインをうまくつかう。（遠くから参加できるとか）

団体の声をつなげる

インバウンドの方々と密なコミュニケーション活動をもっと拡大したい。

オンラインで時間的制約、地理的制約が除かれるので、子育て層や障害を持った人が参加することも増えている。



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

企業間ではSDGsが重要になっているので、企業と市民活動と連携する。

自ら出向いていて、繋がりを意図的につくっていく試みが大事

電話をうまく使う。ネットでは反応がなくても、電話で直接連絡をすると反応がいい。

お互いの利点、得意分野同士でつながっていくのが良いのでは？

「少人数でも集まれるを繰り返す！」しかないかもしれない。でも、集まれなくても、そこに行けば〇〇さんがいるのが良い。

「ごぶさたしていましたスタンプラリー」地域のあちこちにスタンプをおいて、集めてもらい、見せ合いっこする。

企業の中ではビーチクリーンなどの美化活動に興味を持っているところが多いように思う

繋がり方がわからないところが多い

コロナ終息記念大おまつり大会



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

高齢者による活動団体が多い、将来の事が不安に感じているが世代交代が適宜できている。若い方も参加するようになった。ボランティアが活発にする仕掛けが必要、有償ボランティアの制度を作る事も肝要である。最低賃金がキープする事がポイント、雇用につながる事がポイントと感じる。

地域とつながりを持ちたい企業へ足を運んで積極的につながりつくっていく

会食交流会

移動支援と買い物、通院支援

自由な発想で（万？）発表会のようなイベントをやってはどうか

コロナ禍中にみつけた地元のいいお店自慢大会

新たにつなごうとした人、地域のお店とオンラインでグループを作って地域活性

握手会。ハイタッチ会。何人と握手したかを競う。

「会うとzoom」の二本立て ハイブリッド



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

中学生と大人の対話の会。二重の円になってやる中止になってしまったやつ。

「〇〇」ひとつのキーワードで人をつのって（または団体同士で繋がって）、大きな発表会を大きな会場で実施する。

あえてオンラインでやる何か。遠くから参加してもらえとか、を活かしたものの。

つながりを全世界に広げる。

全世界への情報発信。

地域の魅力を発信するフェスティバル。歴史や地元のお店が出店する

農家の収穫支援をボランティア（三浦大根が余った）体験ができる事なので winwinのイベントモデルになるのではないかな？

物資配布を通じて要配慮者やキーパーソンとつながる

全世界への発信。医療通訳の人に協力してもらって、リアルタイムに翻訳しながら海外の人とコミュニケーションする。



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

ひとつの目標を複数の団体、それぞれで追いかけていく。

コロナの2年間を振り返る機会を地域の中でつくりたい。

空き家をコミュニティの拠点として地域に開く

自分をワンランクアップさせる活動（ヌーン活：午後の時間を使った活動）

コロナも災害の一種だと考えられますが、やはり日頃からの繋がり・ネットワークが非常時に役に立つのだと思います。日頃から、地域に様々な活動・人と人のネットワークがあることが重要ではないでしょうか。

田植えの体験をお金を支払ってもらおうビジネスモデルは考えられないか？

ボッチャ大会

全国のNPOの人たちと年越しカウントダウン。オンラインでつないで。

コロナの影響で終息後、外出しなくなる高齢者の外出（買い物・役所等）をアシストする車を用意する



# コロナ終息後に地域のつながりを作り直すアイデアを一つずつ送信してください。回答は複数回送信できます。

福島では、あまり外の出られないということではなかった。オンラインで繋がる機会が広がった。対面とオンラインのハイブリットを使って、コロナ禍を振り返る機会を作ってはどうか

地域にある多文化のお店マップ作り

要配慮者の個別避難計画づくりを通じた人の交流

体験交流型観光。スポーツや文化を体験しながら、その土地のことを知る。

リアルなもようしをやりつつ、全国のNPOを中継でつないで対話する。オンラインで参加できる。